

# 東シナ海ブロック水産業情報

No. 114(2021年7月～9月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>特になし。</p>	<p>○筑前海 ・カキのへい死状況は、平年並み。</p> <p>○有明海 ・7/24～25(2日間)にサルボウ採苗器(パーム椰子)8,000本を設置。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・平年と比べて小ぶりであるが順調に経過。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 ・クルマエビの直放、ヨシエビ及びガザミの中間育成→放流を実施。</p>	<p>○有明 ・養殖ガキ(有明海大浦地区) 今年度は、8月上旬の高水温、8月中旬の豪雨による低塩分化、9月以降の高水温及び産卵疲弊が段階的に蓄積し、養殖ガキの大量斃死が発生したと推定される。 ・ノリ養殖 今年度のノリ採苗は、10月21日から始まり10月24日にはほぼ終了した。その後、西南部地区を中心に赤潮が散発的に発生し、同地区では色落ちが発生しているが、その他の地区では順調な養殖状況となっている(11月18日現在)。</p> <p>○玄海 ・ナマコ:7-9月 アオナマコ70.6万個体、アカナマコ38.2万個体配布終了 ・アカウニ:幼生100万個体飼育中、3月15万個体出荷予定。</p>		<p>【7月】 マダイでピバギナ症、マダイイリドウイルス病、シマアジでレンサ球菌症</p> <p>【8月】 マダイでマダイイリドウイルス病、フリでマダイイリドウイルス病、ピリオ病、レンサ球菌症、ベネデニア症、トラフグでヘテロボツリウム症</p> <p>【9月】 マダイでマダイイリドウイルス病、フリでマダイイリドウイルス病、レンサ球菌症、シマアジでレンサ球菌症</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・八代海では6月中旬から8月中旬に、<i>Gonyaulax polygramma</i>、<i>Mesodinium rubrum</i>による混合赤潮、7月中旬から8月下旬に、<i>Chattonella antiqua</i>による赤潮の計2件が発生した。また、鹿児島湾では、7月中旬から8月下旬に、<i>Gonyaulax polygramma</i>による赤潮が発生した。(いずれも漁業被害なし) ・スジアラ種苗生産:約4.5千尾を生産。</p>	<p>・6月から10月にかけて養殖ブリ当歳魚でマダイイリドウイルス病が多発。累積死亡率は30%程度。 ・例年と比べ養殖ブリ類及びシマアジでα溶血性レンサ球菌症が多発。II型が主流だが一部血清型不明の菌株があるため現在調査中。また、一部の菌株では簡易法(ディスク法)でリンコマイシン耐性を確認。</p>		